

## 事業計画書

### 概要

令和5年度は八千代市地域振興財団にとりまして、新たなスタートの年と捉えています。

八千代市市民会館をはじめとする文化施設、市民体育館、総合グラウンドをはじめとする有料公園施設の指定管理を引き続き5年間更新する事が決まり、また新たに、総合グラウンドや中央図書館がある千葉県立八千代広域公園の指定管理を3年間請け負うこととなりました。

財団運営にあたりましては、新たに策定した経営改善計画に基づき、これまで以上に効果的で効率的な運営を目指してまいります。さらに、市の指導と協力を得て、今後の事業展開を見据えた中長期計画の策定にも取り組んでまいります。

財団の事業は、Ⅰ文化及びスポーツ振興事業Ⅱ緑化事業Ⅲ施設管理運営事業を柱として構成します。

文化及びスポーツ振興事業では、文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開してまいります。文化部門では、鑑賞事業をはじめ市民文化創造事業や普及啓発事業を、スポーツ部門では、スポーツ及びレクリエーション推進事業などを実施してまいります。

また、八千代市市民会館は今年開館50周年を迎えることから、市民会館で行われる文化事業に「市民会館開館50周年記念事業」と冠して実施してまいります。

緑化事業では、緑の保全及び緑化の推進に資する事業を実施し、自然環境の保全や地域の活性化を図ります。緑の保全では、良好な生活環境の維持を図るための草刈り事業など、緑化推進事業では、花苗配付や花壇づくりへの支援などを実施してまいります。

施設管理運営事業では、文化施設及びスポーツ施設につきましては、前述の通り5年間の指定管理を引き続き行うこととなりました。今回の非公募での指定を謙虚に受け止め、これまで以上に市民に寄り添い、市民が安心して利用できる施設運営を心がけてまいります。

新たに管理することとなった八千代広域公園においては、公園という子供からお年寄りまで誰もが訪れる場所であることから、安全で快適な空間作りを目指した管理運営をしてまいります。

新型コロナウイルスは、5月から感染症法上の5類への引き下げが決定され、様々な制限が解除され、にぎわいのある日常の回復に向け動き出していますが、気を緩めず、引き続き感染対策に心がけてまいります。

## I 文化及びスポーツ振興事業

市民会館や市民体育館を主な拠点として文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開します。

### 1 文化振興事業

#### (1) 鑑賞事業

クラシック音楽やポピュラー音楽、伝統芸能など市民に良質な舞台芸術を提供します。

ちば文化振興ネットワークとの連携事業である、0歳児から鑑賞可能な「親子 de オペラ シンデレラ」、宝くじ文化公演「千葉交響楽団 with 千住真理子」、恒例の「新春寄席」や興行者との共催事業として行う「昭和歌謡コンサート」など幅広い年齢層を対象に多彩な事業を実施します。

#### (2) 市民文化創造事業

市民自らが出演及び企画に携わることができる公演など舞台芸術の創造に市民が参加する事業を実施します。

昭和49年から継続している「市民芸能祭」、アマチュアミュージシャンの祭典「やちよミュージックフェスタ」を実行委員会とともに実施するほか、本市の文化振興において、多大なる貢献をいただいている文化団体と共催で事業を行い、市民の文化活動を側面から支援します。また、八千代市からの受託事業として、関係団体と協力しながら「人形劇まつり」「手工芸展」「新春八千代市書道会展」を実施します。

#### (3) 普及啓発事業

ふるさとを想う心や平和への願いといった公益的なメッセージを伝える公演やワークショップなど、自治体や公共的団体との共催により、無料もしくは低廉な料金で文化芸術を市民に広く親しんでもらうことを目的に事業を実施します。

千葉県誕生150周年記念事業として行う「県民の日記念コンサート ミュージカル」や市民会館の舞台裏を紹介する「バックステージツアー」、文化センターでは講座など実施します。また、八千代市からの受託事業として、実行委員会等と協力しながら「八千代平和事業」を実施します。

### 2 スポーツ振興事業

(1)スポーツ及びレクリエーション推進事業

市民の皆さんがスポーツを始めるきっかけとなる機会を提供し、健康増進やスポーツを通しての仲間づくりができる喜びを体感いただけるよう、各種事業を実施いたします。

市民体育館では、人気事業となっている「シルバー健康体操教室」や「バドミントン教室」、他校生徒との交流や社会人選手の指導が好評の「中学生卓球教室」を実施いたします。総合グラウンドでは、「わんぱく運動会」や「女子サッカー教室」など八千代市スポーツ協会と連携して、施設特性に応じた様々な事業を展開します。

また受託事業として事務局業務を担っております「ニューリバーロードレース in 八千代」については、昨年度 3 年振りに規模を縮小して開催いたしましたが、今年度はコロナ前の規模で開催する方向で準備を進めてまいります。

(2) 講習・研修事業

スポーツ活動への市民の多様化に応じるため、指導者の指導力向上など、スポーツ協会と連携して事業を実施します。

## II 緑化事業

### 1 緑の保全事業

緑の保全と良好な生活環境の維持を図るため、空き地や駐車場などの草刈り等を実施します。

(1) 草刈り

大型草刈機等を活用し、市民等の良好な生活環境の維持に貢献するため、適正な料金設定に努めるとともに利用者の拡大を図ってまいります。

(2) 門松カード配布

門松用の松の伐採防止と緑化の啓発を目的に門松カードの配布を行います。

### 2 緑化推進事業

市内の緑化を推進するために、花苗配布や助成金の交付による花壇づくりへの支援をはじめ、市の花「バラ」の普及、緑の講習会やコンクールの開催等、各種事業を実施します。

(1) 花苗配布

市民の自発的な花壇づくりを支援するため、年 2 回花苗を無料配付します。

(2) 助成金の交付

公益性のある場所に花壇やプランターを設置し、花苗の植栽や除草などの維持管理を行う活動及び公道に面した生垣の造成に対し助成金を支給します。

(3) プランター設置

市内に設置したプランターに年間を通じて花苗を植栽し、適切な維持管理を行います。

(4) バラの小径整備

「バラのまち八千代」のシンボリック景観づくりに寄与するため、歩道にバラを植栽している緑化団体への支援を行います。

(5) コンクールの実施

「花と緑」をテーマとした緑化推進の普及・啓発を目的とする各種コンクールを実施します。

(6) 緑の講習会

市民の緑化意識と技術の向上及び市の花「バラ」の普及を目的に、子どもから大人まで幅広い方々を対象に各種の講習会を実施します。

(7) 緑の相談

緑化に関する種々の知識の普及と育成技術の向上を図るため、毎月第4木曜日を「緑の相談日」とし、緑の相談員による市民相談を実施します。

(8) 記念樹配布

人生の節目に記念樹としてバラ苗を贈呈することで、市の花「バラ」の普及に努めます。

(9) 公園維持管理(群生地造成と維持管理)

市民協働で造成した公園内の群生地(彼岸花・スイセン)の維持管理を行い、開花時に多くの人に観賞していただけるように努めます。また、やちよ彼岸花まつり実行委員会の取り組みを支援します。

(10) イベントへの参加(花の種配布)

市が主催する祭りや市民団体等のイベント主催者に配布用の花の種を提供し、緑化の普及啓発を図ります。

### Ⅲ 施設管理運営事業

市民会館をはじめとする文化施設と市民体育館をはじめとする有料公園施設及び総合グラウンド等のスポーツ施設との相互の連携をより一層深めながら、良好な状態を維持できるよう適切な管理運営を行います。また、新たに、八千代広域公園の管理運営を千葉県から3年間の指定を受け、スタートを切る初年度となります。これまでの施設管理のノウハウを活かし、改めて市民にとって、快適で利用しやすい施設の提供と安心安全の確保、利用者の満足度を高められるようサービスの向上に努め、活気にあふれた活動が展開される場となるよう努力します。

なお、新型コロナウイルスの影響は今後も続くことが予想されますが、感染拡大の防止のため、手指消毒及び施設内消毒、換気の徹底など利用者の安全を最優先とした運営に取り組みます。

## 1 文化施設の管理運営

八千代市市民会館、八千代台文化センター、勝田台文化センター及び勝田台ステーションギャラリーの管理運営を引き続き行います。

施設の設置目的である「市民の福祉の向上と文化・芸術の発展に資すること、コミュニティ活動及び社会教育活動の振興を図ること」を念頭に置き、財団のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

施設の貸出業務につきましては、市民の平等な利用の確保に努めながら、おもてなしの心で接します。特にホールの利用においては、経験豊富で専門性の高い職員を配置し、多様な利用形態に対応します。また、利用者寄り添い、思い出に残るステージを共に創り上げ、満足度向上を目指します。

老朽化の著しい八千代台文化センター、勝田台文化センターにおいては、常に設備の状況を把握し、事故や不具合発生の防止に努めるなど適切な管理を行います。

なお、勝田台市民文化プラザ全体の維持管理業務では、これまでの経験を活かし、支所、図書館等との連携を図りながら滞りなく業務を進めます。

## 2 スポーツ施設の管理運営

八千代総合運動公園市民体育館・野球場・庭球場、萱田地区公園野球場・庭球場、村上第1公園庭球場及び八千代市総合グラウンドを、八千代市スポーツ協会との共同事業体として管理運営を行います。また、睦スポーツ広場、上高野多目的グラウンドの管理業務も引き続き受託し、地域のスポーツ及び相互交流の場の提供に努めます。

施設の設置目的である「市民スポーツの中核施設として、スポーツやレクリエーションの普及振興を図り、住民の体力向上、健康増進、明るく豊かな市民生活の形成に寄与すること」を念頭に置き、財団及びスポーツ協会のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

利用者の皆様が、快適に利用できるよう丁寧かつ親しみのある案内を心掛けるとともに、アンケートや利用者との対話の中で寄せられた意見を大切にして施設運営に反映していきます。

また、設備や備品の維持管理については、常に設備の状況を把握した上で市所管課と連絡を密にして安全面を最優先に適正な管理運営を行います。

### 3 八千代広域公園の管理運営

千葉県立八千代広域公園を、「水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい」の実現に向けて、利用者の声を反映し、利用者の視点に立った市民サービスを提供するとともに、これまで培った技術を活かし、維持しつつ利用者が安心して利用できる安全・快適な公園づくりを行います。

公園利用者の平等な利用を図るため、子供から高齢者、障がい者、地域団体、ボランティア団体などの様々な立場の方に対し、公平で不当な差別をしない施設利用の機会を提供します。また、利用者の増加を図るため、時代のニーズに沿ったイベントやプログラムを企画した自主事業を実施し利用者の増加を図ります。

サービスの向上を図るための、利用者のご意見やご要望等の生の声を収集、インターネットでの意見徴収、アンケート調査などを反映し、お客様のニーズに沿った自主事業の企画・運営に努めます。

また、安全快適な場を提供するため、公園を熟知する八千代市造園建設業組合と連携を図り、きめ細かな日常の安全点検の強化を第一に考え、きめ細かな清掃、点検等による安全管理を行うとともに、防犯・防災対策に取り組みます。

## IV 情報発信事業

市民の地域活動の交流と活性化を推進し、市民がいつでも気軽に文化・芸術及びスポーツ活動、緑化活動に親しめるよう、財団ウェブサイトや情報紙「森の詩」などにより、関連情報を広く発信してまいります。紙媒体においては、潜在的な顧客の掘り起しを目的に、新聞折込版の「別冊森の詩」を発行、市内および近隣へは「ちいき新聞」などのフリーペーパーに事業の案内と同時に施設の利用案内も詳細に紹介するとともに、市が発信する「イベント情報メール」やツイッターなどの SNS も活用し、タイムリーな情報をいち早く市民のもとへ届けるなど、施設の利用促進に繋げてまいります。

また、「賛助会員」については、個人はもとより企業・事業所、各種団体等に対して入会を呼びかけ、財政運営の安定化を図るためにも、新たな会員の確保に努めます。

また、文化施設の管理運営を行う県内 12 財団で構成される「ちば文化振興ネットワーク協議会」及びスポーツ施設の管理運営を行う近隣市 6 財団で構成される「湾岸ネットワーク」につきましては、会議などに率先して参加し、お互いのノウハウの活用や様々な情報の共有化により、相互のレベルアップを図ります。

#### (1) 広報

○財団情報紙「森の詩」の毎月発行

- 財団情報紙「別冊森の詩」の適時発行
  - 財団ウェブサイトを活用した情報発信
- (2) 賛助会員の拡大

## V その他

市の魅力発信の一つとして、観光船による印旛沼への航路を開拓し、新川の桜のお花見クルーズを含め収益事業としての可能性を調査検討します。

平成2年に「ふるさと50景」が公募により選ばれ、その後、30年以上経過したことにより、失われたものや景観が変わってしまったものもあります。今ある八千代の史跡や水辺、道や建物、四季折々の光景など、「未来に残したい風景」を新たに選出するための準備を進めてまいります。

また、国と地方がカーボンニュートラルの実現を目指し、脱炭素社会・循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの創造へ取り組みが進められている中、環境対策と災害対策のための電源確保の観点から、公園の枯木や剪定枝などによるバイオマス発電の八千代市への導入に向けて調査検討を進めます。